

平成30年度すみだタウンミーティング
本所地域プラザ指定管理事業「ランチ＆コンサート」への出張タウン
ミーティング
会場：本所地域プラザ 1階イベントスペース
日時：10月13日（土）12時から12時45分まで
出席者数：110名

1 本所地域プラザを中心に高齢者の活動は活発に行われている。その活動をよく知っていただきたい。

区長：墨田区はこの5月に27万人を突破した。一時は21万人台まで減ったが、ちょうど私が区長になった時に26万人を突破して、3年間で1万人増えている状況である。27万人のうち、約6万1千人が65歳以上の方であり、割合にすると約22.8%である。そのうち、半分程度が75歳以上である。また、約6万1千人のうち約2万2千人が一人暮らし高齢者で、100歳以上が98人である。

例えば、本所地域プラザのいろんなイベントに笑顔で集うということが地域の中で行われると、潤いのある豊かな老後が過ごせるのかと思う。

皆さんが笑顔で集える場所やイベントをこれからもしっかりつくっていききたい。

2 八広に住んでいる。私は歌の練習を家庭センターで行っていたが、そこが廃館になって、今は生涯学習センター別館で練習している。そこもなくなるという話を伺って、練習場所が段々となくなってくる。私も含め参加者も高齢となっているため、高い金額は支払うことはできない。安く借りられて練習できる区の施設をたくさんつくってもらいたい。

あと、私には孫がいるのだが、保育園を民間委託することにより、先生が全部入れ替わると聞いている。うちの孫は人見知りなので、先生が全部変わってどうなるのか不安である。子育てを一所懸命に取り組みたいという区長の発言もあったので、子どもたちをすくすくと育てられるように、保育園の取組も民間ではなくて、区でやっていただきたい。

区長：歌など様々な活動されている方々が安価に使用できる練習場所について、生涯学習センターでは別館があり、そこでは昔ながらの料金でやっていた。別館を廃止し、生涯学習センター本館を改修して新たに練習場所等を作る。まずは、会場をしっかりと用意する。地域で活動している団体を登録して、登録した団体の方々に対して何らかの配慮をする等の取組を考えていかなければならないと思っている。

これまで使用料金をずっと押さえてきた。社会の状況のバランスなども考えながら、若々しいよという団体にどのような形で配慮していくのか考えていきたい。

認可保育園を公募すると、社会福祉法人や株式会社が参入し、ほぼそういう団体の中から選定している状況である。今、公立の保育園も27園あり、区の職員として先生が約400人いる。公立の先生とのバランスを見ながら、学校の管理が民営化になったように、少しずつ民営化になっていく流れがあるのは事実である。

直営でやる部分とこれから指定管理者によってやっていく部分が出てくるが、保育の質に差が出てはいけない。また、子どもたちはとても順応性があるが、大事な感性は大切にしなければいけない。

亀沢保育園も今年の6月から指定管理者が運営しており、保護者の皆様といろんな話をしながら、現状はとてもうまく話が進んでいる。

区の認可保育園ですでに2園経営している保育園の管理者にそこを任せている。若い保護者の方々が困らないよう、心配されないように、丁寧に対応していく。

3 向島に住んでいて、隅田公園を通ってきたのですが、隅田公園の工事は、どんなことをやっているのか。

若い方にすみだに住んでよかったと思ってもらえる区政をつくってもらいたいし、高齢者も住んでいてよかったと思える区政にしてほしい。

区長：隅田公園について、オリンピック・パラリンピックまでに東武鉄道のガード下、北十間川の周辺を、区役所からスカイツリーまで繋がる遊歩道にして、東武鉄道ガード下を商店街にする開発を行う予定である。「川」、「ガード下」に合わせて隅田公園を改修している。錦糸公園が都内でとても人気のある公園になっていて、公園を中心とした賑わいが生まれている。それに合わせて隅田公園もにぎわいのある公園にしていきたい。

そして、もう一つ、できればオリンピック・パラリンピックの時に大きなイベントをやれたらと考えている。オリンピック・パラリンピックの気運醸成にも活用できるように改修工事を行っている。

4 石原在住。喫煙所の問題、まだまだ喫煙者のマナーが悪い。住宅業者の違法な道路上のカラーコーンの撤去、公園の清掃が不十分である。

区長：煙草の問題について、オリンピック・パラリンピックに向けて煙草のマナー、受動喫煙の問題等、社会の中でさまざまな話が出ている。東京都と連携して対処していく。

今後、公共施設の中に喫煙所を設置してはならないというルールになる。時期が来ると区役所内に設置している喫煙所を廃止することになる。ただ愛煙家の方

もいるので安心して吸える場所も用意をしなければならない。原則、国・都の方針に沿って対応をしていきたいと考えている。

墨田区にはJTの工場がある。各区も同様であるが、たばこ税を約20億円収入している。税金を徴収しているにもかかわらず喫煙所を全く作らないのは難しい。バランスを考えて対応をしていかなければならない。

道路上のカラーコーンは確かに危なくて、区の土木部門が定期的に点検を行っている。道路上に置いてあって本当に危険なものがあれば土木部門まで連絡してほしい。墨田区の土木部門がすぐに対応する。

清掃はやはりとても大事で、町がきれいであることが住みやすい町・訪れたい町につながる。どこかにゴミが落ちていたり、自転車が放置してあったりすると汚い町になっていく。清掃管理をすることで皆さんが快適に生活でき、自分達の町は自分達できれいにしようということにつながる。これからも清掃の行き届いた町にしていきたい。

5 アトリウムにある「鶴の折り紙オブジェ」、江戸東京博物館でもやってほしい。

区長：区役所の一階アトリウムに飾ってある鶴のオブジェのことで、関東大震災・東京大空襲の経験から「平和のメッセージ」として歴代の区長が続けている。今年は平成という文字を入れていて、区民の方が折った鶴を壁画にしている。これまでも区役所1階以外のところでもやってみてはどうかという意見をいただいている。あれだけ大きなものを他で行うのはなかなか難しいとは思っている。今回の江戸東京博物館については館長に提案していきたい。

6 立川在住だが、本所地域プラザみたいな集まれる場所がないので、作ってほしい。

区長：本所地域プラザのようによく運営をしていると他の場所でも同じような施設を作ってはどうかという要望が出るのはわかる。地域の方々の居場所づくりは区の大事な役割だと認識している。墨田区の予算は約1,192億、この予算の中でさまざまな施策を行っていかなければならない。例えば、中学校を一つ作り直そうとすると約40億円かかる。財政にもう少し余裕があると要望のとおりもう一か所ずつ作るということが出来るかもしれない。使われていない区有地・都有地・国有地の活用や民間企業との連携を検討しながら、時期をみて、財政状況と相談しながらそういうことも考えていかなければいけない。

7 本所から直通で豊洲に行けるバスをひいてほしい。

区長：交通手段も非常に大事で便利なほど良い。ただ、現在、江東区長と話を進

めているのが豊洲から錦糸町まで繋がる地下鉄を東京都知事に申し上げていて、前向きな回答をもらっている。ただ、実現したとしてもだいぶ先の話になる。

8 葛飾北斎の一番すごいと思うところは？

区長：素晴らしい作品を残したというのは言うまでもない。江戸時代に1760年に生まれて1849年まで89年間生きた長命で健康な方であり、83才で小布施まで約250キロを往復して帰ってきた。亡くなるまでに4回往復している。葛飾北斎は高齢長寿、そして健康な方の代表であり、墨田区で約90年間暮らしていた。

すみだ北斎美術館ができて11月22日で丸2年になる。区立美術館としては異例だと思うが、これまでに約53万人のお客様が来場していて、様々な国の大統領や大使にもお越しいただいている。ふるさと納税を活用し墨田区の地域ブランド商品を提供して寄付を募っていて、なんともうすぐ10億円になる。北斎にまつわる皆様のご理解とご協力をいただいていることに感謝している。また、刀剣博物館の開館、江戸東京博物館のリニューアル、羽田から直通で墨田区まで上がってくる船の発着など、北斎の町両国が変化している。

さらに、勝海舟は1823年に亀沢町に生まれた。彼の行った江戸の無血開城、その明治維新から150年。つい先日、上野の西郷隆盛像、墨田区役所前のうるおい広場の勝海舟像の二つの銅像でもって、シンポジウムを行った。

北斎・勝海舟・王貞治、この三人は墨田の三大偉人ということになると思う。墨田区にはこういった方々がいるということもPRしていきたい。